

＝ 主な内容 ＝

| | |
|-------------------------|---------|
| 臨時議会 | 2・3 |
| 春の叙勲・受賞者の方々 | 4 |
| 徳島県西部総合県民局からのお知らせ | 5 |
| お知らせ | 6～11・14 |
| まちの話題 | 12・13 |
| 文化協会だより | 15 |

NO. **3**

2006.6.12

～ 元気・交流・未来へ ふるさと東みよし町 ～



パラグライダー全国大会・ゆめりあ34カップ

広報
東みよし



臨時議会

五月十七日、臨時議会が開会され、正副議長選挙が行われた他、常任委員会、議会運営委員会の構成が決まりました。

また、議会選出の三加茂財産区管理運営・吉野川堤防建設促進・下水道等環境問題・地域拠点整備事業対策・情報通信網整備検討各特別委員会委員が選任され、監査委員、国保運営協議会委員、農業委員の推薦が行われました。

その他、専決処分承認等四議案について審議が行われ、原案どおり可決し、閉会しました。

可決された主なものは、次のとおりです。

★平成十七年度東みよし町水道事業会計暫定予算について
億七百八十六万四千円とする。

★平成十七年度東みよし町老人保健事業特別会計暫定補正予算について
歳入歳出暫定予算の総額にそれぞれ二億四千七十一万九千円を追加し、五億一千九百六十九万五千円とする。

★平成十七年度東みよし町簡易水道事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ一千八百八十二万二千円とする。

★平成十七年度東みよし町公共下水道事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ九千九百九十万円とする。

★平成十七年度東みよし町一般会計暫定補正予算について
歳入歳出暫定予算の総額にそれぞれ二億三千七百一十二万五千円を追加し、二十八億二千三百九十八万七千円とする。

★平成十七年度東みよし町公共下水道事業特別会計暫定補正予算について
歳入歳出暫定予算の総額にそれぞれ百九十万円を追加し、一億百八十万円とする。

★平成十八年度東みよし町水道事業会計暫定予算について
収益的収入及び支出の予定額は四千八百四十四万六千円とし、資本的支出の予定額を一千三百四十二万六千円とする。

★平成十八年度東みよし町簡易水道事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ三千四百六万四千円とする。

★平成十八年度東みよし町一般会計暫定補正予算について
歳入歳出暫定予算の総額にそれぞれ六千七百八十一万二千円を追加し、十五億五千二百八十万二千円とする。

★平成十八年度東みよし町老人保健事業特別会計暫定補正予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ四億八千四百九十九万円とする。

★平成十八年度東みよし町国民健康保険事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ四億八千四百九十九万円とする。

★平成十八年度東みよし町老人保健事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ五億七千七百七十七万七千円とする。

条例の改正

★東みよし町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

★東みよし町税条例の一部を改正する条例について

★東みよし町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

★平成十七年度東みよし町老人保健特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ四

★平成十七年度東みよし町国民健康保険特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ二億七千八百九十七万六千円とする。

★平成十七年度東みよし町一般会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ二十五億八千六百八十六万二千円とする。

★平成十八年度東みよし町老人保健事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ五億七千七百七十七万七千円とする。

★平成十八年度東みよし町国民健康保険事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ四億八千四百九十九万円とする。

★平成十八年度東みよし町簡易水道事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ三千四百六万四千円とする。

★平成十八年度東みよし町公共下水道事業特別会計暫定予算について
歳入歳出暫定予算の総額にそれぞれ六千七百八十一万二千円を追加し、十五億五千二百八十万二千円とする。

★平成十八年度東みよし町老人保健事業特別会計暫定補正予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ四億八千四百九十九万円とする。

★平成十八年度東みよし町簡易水道事業特別会計暫定補正予算について
歳入歳出暫定予算の総額をそれぞれ三千四百六万四千円とする。

★平成十八年度東みよし町水道事業会計暫定補正予算について
歳入歳出暫定予算の総額にそれぞれ二億四千七十一万九千円を追加し、五億一千九百六十九万五千円とする。

選任・任命
(敬称略)

★監査委員の選任について
安藤孝明
南 雅彦が選任されました。

★教育委員の任命について
中川温子
東川重昭
秋田忠節
伊藤良徳
川原良正が任命されました

★固定資産評価委員の選任について
藤田英文
佐藤信夫
平野 好
山下善照が選任されました。

正・副議長、常任委員などが決まる。
(敬称略)

○議長 坂本 正一
○副議長 中川 祐司

★総務常任委員会

委員長 鈴木 常治
副委員長 横関 秋義
横山 幸一
坂本 正一
川原 正一
藤本 英治

★教育厚生常任委員会

委員長 長谷川吉正
副委員長 加藤 義博
中川 祐司
木村 吉男
安宅 博

★産業建設常任委員会

委員長 安藤 孝明
副委員長 坂本 健二
宮 賢司
斉藤 雄二
大南 勝

★議会運営委員会

委員長 中川 祐司
副委員長 長谷川吉正
坂本 正一
鈴木 常治
安藤 孝明

★三加茂財産区管理運営特別委員会

委員長 川原 正一
副委員長 大南 勝
坂本 正一
長谷川吉正
藤本 英治
安藤 孝明
鈴木 常治

★吉野川堤防建設促進特別委員会

委員長 藤本 英治
副委員長 横山 幸一
加藤 義博
安藤 孝明
宮 賢司
木村 吉男
安宅 博
大南 勝

★下水道等環境問題特別委員会

委員長 横山 幸一
副委員長 川原 正一
坂本 正一

★地域拠点整備事業対策特別委員会

委員長 横関 秋義
副委員長 長谷川吉正
鈴木 常治
安宅 博
斉藤 雄二

★情報通信網整備検討特別委員会

委員長 坂本 健二
副委員長 藤本 英治
坂本 正一
横関 秋義
川原 正一
鈴木 常治
中川 祐司
木村 吉男

★国保運営協議会委員

川原 正一
鈴木 常治
中川 祐司
坂本 健二

★農業委員

宮 賢司
安宅 博

就任のごあいさつ

周回の山々は、一段と緑濃くさわやかな薫風が吹きぬける好季節となりました。

町民の皆様方にはますますご清祥のこととお喜びを申し上げます。21世紀を迎え早5年が経過し徳島県の平成の大合併も50市町村から24市町村となり、二つの区切りを迎えた中、町民皆様の大きな懸案事項である三加茂・三好両町が合併し新生東みよし町としてスタートいたしました。そうした中、5月17日の臨時議会におきまして不肖私が議員皆様方のご推挙により、誕生したばかりの東みよし町議会議長のお職に就くことになりました。誠に身に余る光栄でございます。私は議員として経験も浅く浅学非才ではございますが、皆様のご推挙を受け議長に就任致した上は一身を挺して、その職務を全うする覚悟でございます。時代は今、真の地方分権社会の実現に向けての歩みが加速され、町を取り巻く環境はかつてない構造変化を遂げようとしています。このような時議長に就任し一層、その責任の重大性を認識いたしておりますが、不偏不党、公正の立場を堅持し、誠心誠意、明るく元気な、住んでよかったと誇りをもてる町づくりに努めて参りたいと思存いたします。今後住民皆様の清新なご意見発想をいただきたいと思存いたします。終わりに臨み皆様方のご健勝と限りなく幸いです。ご祈念申し上げます、議長就任のご挨拶とさせていただきます。



坂本正一 議長



中川祐司 副議長

議長 坂本正一

叙勲おめでとうございます

平成十八年春の叙勲
本町より三氏の方が受章されました



左より、國安信知氏・檜恵一氏・川原セツ子氏

旭日双光章 檜 恵一氏(原中)

檜氏は、昭和六十二年に三加茂町長に当選以来、平成十二年までの三十二年にわたって地域の発展に努め、町立体育館や老人福祉センター・デイサービスセンター、環境センター・ストックヤードなどを建設するとともに、平成五年には東四国国体の空手道競技大会を成功させるなど、高邁な政治信念をもつて、地方自治の発展及び住民福祉の向上に貢献されました。

また、平成七年には三好郡町村会会長にも選任され、広域的な視野に立ち、

町村会の運営、三好郡行政の発展に寄与されました。

その一方で、三加茂町社会福祉協議会会長として、高齢者・地域福祉対策等の整備充実を図り住民福祉の向上にご尽力されました。そうした地方自治における功績が認められ、旭日双光章を受章されました。

瑞宝双光章

國安 信知氏(森清)

國安氏は、昭和二十六年に三庄村消防団に入団以来、三加茂町消防団第四分団長を経て、昭和六十二年からは、三

加茂町消防団団長を努められ、平成五年までの九年間、積極・誠実な消防活動に邁進されました。

また、消防団長在任中には、財団法人日本消防協会三好地方分会会長や徳島県消防協会副会長の要職を歴任され、四十二年以上の半世紀近くにわたり、消防人として地域の安全を守ることにご尽力されました。

その一方で、昭和五十四年から三加茂町議会議員となり、平成五年から二年にわたり議会議長に選出されるとともに、平成三年から平成十八年までの間は三加茂町監査委員、平成十三年から平成十五年の間は三好東部森林組合長を務めるなど、あらゆる方面から町行政にご尽力されました。そうした消防活動並びに地方自治における功績が認められ、瑞宝双光章を受章されました。

瑞宝双光章

川原 セツ子氏(山根中)

川原氏は、昭和三十五年に見護師として小松島赤十字病院に奉職し、昭和三十八年から県立三好病院に勤務地を移し、より良い看護を模索しながら看護業務に努められました。

平成五年には県立三好病院総看護婦長に就任し、約百六十人の看護師を

統率しながら、臨床看護の質の向上発展、看護体制の整備、看護業務の改善、後輩の指導・育成などに尽力され、平成十一年に退職されるまで二十八年の永きにわたり、博愛の精神をもって看護の道に邁進されました。

退職後は、社団法人徳島県看護協会訪問看護ステーション半田の所長を五年間務められ、現在は、人の役に立つことを生きがいとされ、県立三好病院やつるぎ町のさつき事業所において、ボランティアに携わるなど、医療・保健の現場で活躍されています。そうした看護業務における功績が認められ、瑞宝双光章を受章されました。

五月二日には徳島県庁において、勲記勲章の伝達式が行われ、受賞者の三氏の方が出席されました。

伝達式では、飯泉知事より受賞者一人一人に勲記と勲章が伝達され、厳粛な雰囲気の中、受章の喜びをかみしめられていました。

受章された三氏の方のこれまでのご努力とご貢献に対し、深く敬意を表しますとともに、町民の皆さまにこの喜びをご報告いたします。

今後とも健康に留意され、ますますお元気に活動されますことをお祈りいたします。

